

「HySUT北九州水素タウン」において純水素型燃料電池等の運転実証試験を開始

～水素エネルギーモデルタウンの構築を目指す社会実証試験へ参加～

記者各位

当社(社長:木村 康)は、水素供給・利用技術研究組合(理事長:吉田正寛、以下「HySUT(ハイサット)」という。)が、経済産業省の「水素利用社会システム構築実証事業」の支援において実施する「北九州水素タウンプロジェクト」に参画しておりますが、2011年1月15日より、本プロジェクトの運用開始に伴い、純水素型燃料電池等の運転実証試験を開始いたしますのでお知らせいたします。




本プロジェクトでは、福岡県等が進める『福岡水素戦略(Hy-Lifeプロジェクト)』が設置した「北九州水素ステーション」から、近隣の集合住宅・戸建住宅や公共施設までパイプラインを敷設して付臭された水素を供給し、家庭用・業務用の純水素型燃料電池の運転実証試験などの検証を行います。

当社は、北九州水素ステーションに業務用3kW級純水素型燃料電池を設置し、停電時においても、系統電力から独立して運転し、ステーションの稼働を可能とするシステムの実証試験を行います。また、一般住宅において家庭用1kW級純水素型燃料電池と、太陽光発電および蓄電池を同時に運転させたとき、外部購入電力量が最小となるような最適連系制御システムの実証評価を行うとともに、系統電力停電時における自立した電力・熱源供給の検証も実施いたします。

当社は、本プロジェクトへの参加を通じた水素供給事業の基盤確立に努めるとともに、家庭用燃料電池の普及推進などにより、水素エネルギーによる持続可能な低炭素社会の実現に貢献してまいります。

以上

● 別添資料

-  「水素供給・利用技術研究組合(HySUT)」の概要 (PDF:80.2 KB/1ページ)
-  「北九州水素タウンプロジェクト」の概要 (PDF:256.2 KB/1ページ)
-  JXエネルギーにおける燃料電池・水素エネルギー関連の取り組み (PDF:108.2 KB/1ページ)